



きっずる一むだより

第 33 号

令和 5 年 7 月 10 日発行

社会福祉法人ゆうゆう

きっずる一む県庁別館

夏本番まであと少し。楓の庭では子ども達が水遊びに夢中です。ペットボトルの玩具に水を入れると下から出てきて、地面にお絵描きができることを発見！ また水面に反射した光を不思議そうに見つめたり、水の入ったバケツに手を入れて水の冷たさを感じたりと五感で楽しむ子ども達です。

そんな様子を見て、近くを通った方がよく声を掛けて下さいます。これからも庁内の方達との関わりを大切にしていきたいです。



ズボンを穿く



Aちゃん(2歳2ヶ月)は保育者に手伝ってもらいながらズボンを穿いています。以前に比べ、ズボンに足を通したり上げたりする動作がスムーズになってきました。ズボンの前側を上げると次は後ろ側を上げることもチャレンジ。自分で出来た事が嬉しく、保育者に「できた！できた！」と何度も教えてくれました。

Aちゃんの姿から見る発達

一歳半から二歳頃になると、それまで大人ができていた身の回りのことに興味を持ち、「自分でやりたい！」という気持ちが芽生えてきます。しかし、子どもにとっては難しい動作もたくさん。なかなか足が通らなかったり、おしりでウエストのゴムが引っかかってしまったり、もどかしさを感じていることも多いです。それでも繰り返しチャレンジし、成功したときには「自分でできた！」という、喜びと達成感に溢れた表情や姿を見せてくれます。

子どもにとって身近な大人、特に大好きな家族と一緒に喜んでくれることは何よりも嬉しいのではないでしょうか。このような経験が自信となり、新たな挑戦へと繋がっていきます。

いよいよ7月です。この時期は、普段幼稚園などに通園しているお友達も夏休みに入るので、きっずる一むに遊びに来てくれます。久しぶりの再会、そして新しい出会いを子ども達も保育者もとても楽しみにしています。暑さが厳しい季節ですが、みんなで元気に楽しく過ごしていきましょう。

